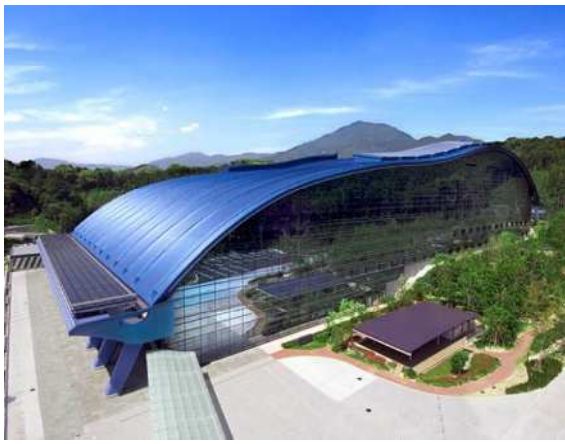
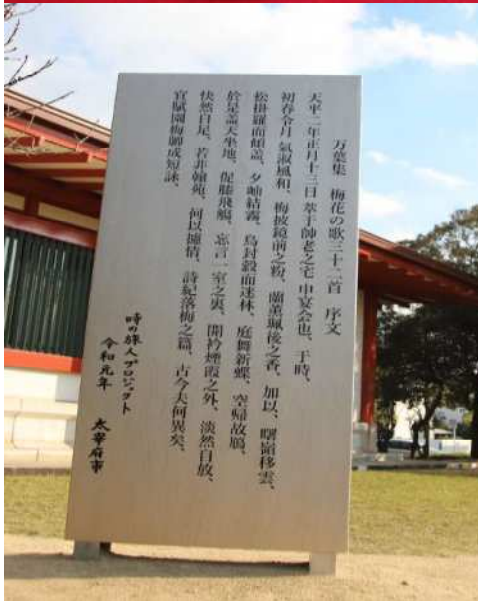




第二次太宰府市観光推進基本計画

～住まう人も訪れる人もともに慶びを分かち合える“令和の都 だざいふ”～



令和 6(2024)年3月
太宰府市

は じ め に

平素より太宰府市政に対し多大なるご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。古より我が国の政治、行政、外交、防衛、文化、交易などの要衝として栄えてきた本市は、大宰府跡、水城跡、大野城跡、太宰府天満宮、九州国立博物館を始め今もその歴史をしのばせる多くの名所旧跡、豊かな自然に恵まれ、日本を代表する国際観光都市として多くの観光客に訪れていただいております。

本市の観光の歴史は、江戸時代太宰府天満宮に参拝する「さいふまいり」が盛んに行われるようになったことにさかのぼります。門前町の街並みや梅ヶ枝餅など、古くからの観光に由来する文化や商業が今でも多くみられるように、本市は観光とともに発展を続けてきたとも言えます。近年では、2019年の元号「令和」への改元により、本市は「元号発祥の地」として改めて脚光を浴びました。

一方で、令和 2(2020)年からは予期せぬコロナ禍による観光需要への深刻な影響など、本市観光を取り巻く環境は大きく変化しました。また、令和 5(2023)年には国がオーバーツーリズムの未然防止・抑制に向けた対策を行うことを決定し、本市においてもオーバーツーリズムへの対応は喫緊の課題だと捉え、市民と交流人口・関係人口の相互発展を令和6年度施政方針の重点としております。

このような状況の下、刻々と変化する社会情勢に対応し、これまで以上に戦略的、効果的な施策を推進するため、このたび「第二次太宰府市観光推進基本計画～住まう人も訪れる人もともに慶びを分かち合える“令和の都だざいふ”～」を策定いたしました。本計画では、本市観光を取り巻く様々な環境への対応を目指した5つの基本戦略と、これらに紐づく21の基本施策を掲げております。

今後は、本計画に基づき、市民と交流人口・関係人口が相互発展し好循環をもたらすこれからの時代を見据えた持続可能な観光振興を図り、先人たちから受け継がれてきた本市の財産である歴史や自然、文化資源などを次世代に引き継いでいけるよう、「住まう人も、訪れる人もともに慶びを分かち合える“令和の都 だざいふ”」を目指し、本市一丸となって取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、多大なるご尽力を賜りました観光推進基本計画策定協議会の皆様を始め、議員各位、パブリック・コメント等でご意見を下さった市民の皆様、その他関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、今後もなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げ、さらには「令和の都だざいふ」がさらに羽ばたいていくことを祈念し、巻頭の言葉と致します。

令和 6(2024)年3月

太宰府市長

楠田大蔵



目次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の背景・目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	4
第2章 観光を取り巻く情勢と太宰府市の現状	5
1 観光に係る社会情勢	5
(1) 人口減少・少子高齢化の進行	5
(2) コロナ禍の影響	5
(3) 「SDGs」や「持続可能な観光」に対する意識の高まり	5
2 国・県の観光振興の動向	6
(1) 国の動向	6
(2) 福岡県の動向	7
3 太宰府市の観光の現状	8
(1) 太宰府市の観光の歴史	8
(2) 「太宰府市観光推進基本計画」「太宰府市観光推進基本計画（追加変更）」の振り返り	12
(3) 観光客等アンケートによる分析結果	17
第3章 計画の目指す姿	24
1 目指す姿	24
2 計画に盛り込む要素	25
3 基本戦略	26
4 計画の指標（KPI*）	30
5 施策体系	31
6 各基本施策における方針と主な取り組み（例）	32
第4章 基本戦略と取り組み	35
基本戦略1 観光コンテンツの開発・磨き上げ	35
基本戦略2 効果的な観光プロモーションの推進	43
基本戦略3 受け入れ環境の整備・充実	46
基本戦略4 関係機関との連携強化・体制づくり	52
基本戦略5 持続可能な観光地域づくり	57

第5章 計画の推進体制	63
1 推進体制・進捗管理	63
あとがき	64
巻末資料	66
【太宰府市観光推進基本計画策定協議会 委員名簿】	66
【計画策定の経緯・経過】	67
【用語解説】	68
【太宰府市の観光の歴史・文化に関する参考文献】	70
【太宰府市観光情報 ホームページ】	70

注) 本計画書において「*」と表記のある用語については、巻末資料の用語解説をご参照ください